

事務事業評価(事前評価)シート【令和元年度】

主管課(担当名)	介護福祉課(高齢者包括支援担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	老人福祉センター整備事業	事業番号	11080

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-5	高齢者福祉の充実
	施策目標	高齢者が生きがいをもって活躍するまち	

2 事務事業の目的

目的	老人福祉センターの備品については老朽化が進んでいることから、新たにパイプ椅子を使用した長テーブルや椅子、健康機器などを入れ替え、施設利用者の利便性の向上や健康増進を図る。
成果	備品の整備を行うことにより利便性の向上及び施設利用者の健康増進が期待できる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	29							
	30							
	31							
	32							
	33							
事業費と内訳	(単位:千円)		H29	H30	H31	H32	H33	総事業費
	事業費				2,388	1,100		3,488
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			2,388	1,100		3,488
		一般財源						
	人員(人工)				0.04	0.04		0.08
	職員費(人員×7,693千円)				308	308		616
	総事業費				2,696	1,408		4,104
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H30)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	1日あたりの延べ施設利用者数	86人	90人	95人
	利用者アンケートで施設内の設備について「使いやすい」と感じる割合	83%	85%	90%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	施設利用者のほとんどが高齢者であり、立ったり座ったりの動作が困難な方の足腰への負担軽減が図られる。 また、健康機器を使用することにより健康増進が期待できる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 現在のテーブルは床に座るタイプのものであり、日常生活に支障をきたすため、高齢者の生活ニーズにあった整備が求められている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市が所管する施設の備品整備であり、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 日常生活に支障をきたすことから、高齢者の生活ニーズに応じた整備が必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 市が所管する施設の備品整備であり、市が実施すべきである。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 広く施設利用者が使用可能であり、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 施設を利用される高齢者の利便性向上が期待され、健康で生きがいのある生活が期待できることから、有効性がある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【速やかに実施】 備品の更新により高齢者の利便性の向上、及び健康増進に繋がることから、円滑に事業推進を図られたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する アンケート調査などの結果を参考に、高齢者の利用しやすい施設として必要な整備を継続する。